

第1投目：想定外の釣りでやっと初クロ

2013.1月某日、前線が奄美上空にかかりぶ厚い雲、時折小雨が降る私の活性が上がらない天気ではありましたが、朝5時出港の瀬渡し便に乗り込み瀬戸内町の東側海域へ釣行しました。今シーズンは12月に3回ほどクロを狙って釣行しましたが、いまだクロの釣果は得られず…なんとか今日の釣行で流れを変えたいものです。



港を出る船の中で船長から最近の釣果情報を仕入れます。『あそこは昨日クロが見えたらしいけど…釣れはせんかったけどや。降りてみるな?』前日まで私はその磯に乗る予定は全くなかったのですが、何とか今シーズンの流れを変えたい一心で船長の言葉に乗りました。

出港して20分、まだまだ真っ暗闇の磯に一人で降り立ち、撒き餌を少しずつ打ちながら黙々と釣りの準備にとりかかります。この日は東からのうねりも大きかったため、まずは道具を流されないようにピトンを岩に打ち込み、ロープで固定する作業からとりかかりました。

さて、仕掛けのセットも終え、いざ釣りを開始しようとしたのですが、まだウキさえも見えない暗闇です。この状況は想定してなかったため電気ウキもありません。ただただ背後から駆け上がってくる波を気にしながら、撒き餌のみを打つ心細い時間が約40分も続きました。午前6時過ぎ、やっと東の空の色が変わり始め、海面とウキがかすかに見えるように…ずっと撒き餌は打っているので魚は寄っているはずと、撒き餌の流れと海中の仕掛けと想像しながらキワを狙います。

仕掛けを入れて1投目から夜の赤い魚が3連続で釣れました。そしてその次にイソゴンベ。『よしよし、仕掛けは入ってる・・・』全身がクロの到来に備えています。そして次の1投、ウキは見えない中、穂先で感じたと思ったアタリは一気に竿を絞り込み、明らかに今までの魚と違う重量感を伝えてくれました！暗闇の中、何とかタモに入れ、足元に置くまで魚は何か分かりませんでした。ライトに照らし出されたその魚は今シーズンの初クロ！型はそれほどでもありませんでしたが、やっとこさクロの顔を拝むことができたのでした。



その後、1枚追加はしましたが、徐々に潮は満ちあがり、うねりは大きくなってきます。足場がほとんど無くなり始めた午前8時すぎ、その場を逃げるように瀬替わりさせてもらいました。次に乗った磯ではクロからの魚信は無かったものの、2枚のクロ釣果に恵まれ、新年の良い初釣りとなりました。そして何事も備えは重要。家に帰りさっそく電気ウキをライフジャケットに入れた私でした。